利用上の注意

- 1 本調査は標本調査であるので、母集団に復元したものを調査結果として表章している。
- 2 統計表に用いている記号は次のとおりである。
 - (1) 「0.0」は、表章単位数値未満のものを示す。
 - (2) 「-」は、該当数値がないものを示す。
 - (3) 「・」は、項目があり得ないものを示す。
 - (4) 「…」は、上記以外で数値がないもの、又は、数値を表章することが適当でないものを示す。
 - (5) 数値の右に「*」が付されているものは、分母となるサンプル数が事業所調査では1以上3未満、労働者調査では1以上10未満のものを示し、統計の精度に問題があるため、利用する際は注意を要する。
- 3 統計表等の数値は、表章単位未満を四捨五入しており、項目の和が計の数値に合わないことがある。
- 4 用語の「パートタイム労働者」は、令和元年、平成26年、平成21年に定義を変更しているため、年次比較の際は注意を要する。
- 5 東日本大震災の影響により、平成26年調査では、原子力災害対策特別措置法に基づき避難指示区域(帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域)に指定された市町村に所在する事業所を調査対象から除外し、除外した市町村分の標本については、福島県内の他地域から補完している。
- 6 本調査は、統計法に基づき総務大臣が承認した調査計画では、調査の範囲を大分類「宿泊業、飲食サービス業」を含む16大産業としているが、平成26年調査以前は、このうち小分類「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を調査の範囲から除外していた。令和元年調査においては、調査計画どおり、「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を調査の範囲に加えている。
- 7 結果原表について、1つの集計事項で複数の構成比がある場合、表示項目は同じだが、数値が存在しない項目欄は空白としている。